

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
社会セミナー	2	3	選択	普通科 国際人文科	

1. 科目概要および目標

1・2年次における地歴公民科目の知識を生かし、進学へ向けての応用的な学力を養う。その際、単なる既得知識の復習を目的とした学習を行うだけではなく小論文指導を通して読解力を身につける取り組みを行う。

2. 成績評価

定期考査は原則的に行わない。普段の授業における学習態度や小論文等の提出物、面接の学習など、授業から修得した課題解決能力を総合的に評価する。また、ニュース時事能力検定など、社会科目関係の検定受検も含めて考慮する。

提出物	80	%	授業態度	10	%	その他	10	%
-----	----	---	------	----	---	-----	----	---

3. 使用教科書・教材

小論文資料・課題
地歴公民科目の教科書・副教材

4. 授業の展開と形態

各人における自学・自習を中心に進めていく。教師は、教材の提供および添削、学習の解説という役割を担い、生徒の積極的な学習を支援する。小論文対策や発表形式の授業の時は、各生徒の地歴科目に関する知識や考察を、より発揮できるように工夫しながら取り組む。

5. 学習方法

1・2学年時における地歴科目の知識はもちろん、普段の生活における様々な情報や体験は社会的な要素をふんだんに含んでいる。また、授業における学習だけでは、地歴科目に関する応用力や課題解決能力は育成されない。従って、生活する中で接する情報源、例えば新聞やニュースなどに興味を持ち、社会的な視点で考察する習慣を身につけ、また、授業においてそれが活用されるように取り組んでほしい。

6. 履修上の留意点

科目選択をする際考慮すべき事項

応用的・発展的な学習が要求されるため、地歴科目の基礎・基本を身につけておく必要がある。また、社会にあふれている様々な情報に目を配り、社会的な視点で世の中を見る習慣を形成する。

年間授業計画

那覇西高等学校

月	単元	節	学習計画	配時
4月	小論文指導	授業開き	授業開き (オリエンテーション)	28
5月		《小論文指導》 ①社会の動向に関する様々なテーマの小論文 ②興味関心をもった時事問題への理解の深化	《小論文指導》 ①生徒は、与えられた課題について各自で論文を書く。その際、各種資料や教材等を活用しながら、社会的な知識や理解を深める学習を行う。 ②教科担任は生徒それぞれの学習にあわせて添削、助言等の指導を行い、生徒の積極的な学習を支援する。	
6月				
7月				
9月	小論文指導 課題解決 学習	《小論文指導》 ○時事学習	《小論文指導》 ・時事学習として毎日のニュースや新聞等の記事、社説を読み取る学習を行い、小論文に活用できる知識を深化させる。	32
10月				
11月		《課題解決学習》 ①個人テーマ設定 ②資料収集 ③論文指導	《課題解決学習》 ・これまでの小論文学習を発展させながら、自分の興味・関心のある題材をテーマとし調査・論文学習を行う。 ・論文の指導として、仮説の設定から調査報告、仮説の証明、自分の意見等、論文の記述形式を意識させながら学習させる。	
12月				
1月	発表学習 2次対策	《発表学習》 ・論文の発表	《発表学習》 ①論文について発表する内容をまとめ、資料等の準備をする。 ②各自で発表を行い、全員それについて感想をまとめる。	10
2月				